

Sentinel シリーズ運用マニュアル

技研商事インターナショナル株式会社
技術部技術課
2001年7月1日

使用注意事項・一般的な内容について

- 使用されるにあたって・結線について -

36ピンタイプのセンチネルはコンピュータへの接続を確実に行うためのクリップが付いています。

このクリップをはめ込んだままプリンタケーブルを無理に引き抜くと最悪の場合、センチネルを破損する恐れがあります。

- 使用されるにあたって・コンピュータの設定 -

ノートパソコンやグリーンPCなどの省電力コンピュータの場合、購入時のシステム設定によってはプリンタコネクタの電源が遮断されている場合があります。電源が遮断されている状態ではセンチネルは動作できませんのでシステムメニューなどで電源を入れて下さい。

- 接続される際にあたって・接続の方法 -

コンピュータやプリンタ等で電源を入れたままケーブルを抜き差しすることが好ましくないことは、大抵の機器のマニュアルに記載されています。しかしながら実際の使用では電源を入れたままの抜き差しは一般に行われております。

センチネルはそのような現状を踏まえて電源を入れたままの抜き差し(ホットプラグ)でも致命的な損傷を発生しないようには作成されております。

ただしコンピュータやプリンタによっては電源を入れたまま抜き差しを行うことで誤動作や内部データの破壊を招くものも有ります。そこで電源を入れたままでの抜き差しは行なわないで下さい。電源を入れたままの抜き差しについて発生した誤動作については技術部までお問い合わせ下さい。

使用注意事項・プリンタポートの確認

- プリンタポートが使えますか？ -

Sentinelはプリンタポートに接続される機器です（USBタイプは除く）。もし使用されるコンピュータでプリンタポートが使用不可能な状態になっていれば動作することが出来ません。プリンタポートが使用不能になっている場合は、以下のようなケースが考えられます。

- ・ ノートコンピュータでプリンタポートを使用しない設定が行われている場合

省電力を意識したノート型コンピュータではプリンタポートの電源のみを遮断して電気を節約している設定で運用されているものもあります。このような場合にはコンピュータのマニュアルに従ってプリンタポートをONにして下さい。

- ・ WindowsME, 95/98/98SEが導入されていたコンピュータにWindowsNTを導入した場合

Windows9xはプラグアンドプレイ機能により、プリンタポートなどが使用しているアドレスを自動に割り振る機能があります。これらの機能を最大限に生かしたコンピュータではプリンタポートの設定をハードウェア的に固定せずに"Auto"設定にされていることがあります。この設定はWindows9xのみが認識可能な設定で、WindowsNTからはプリンタポートとして設定することが出来ません。プリンタポートとして認識不可能ですので当然Sentinelも動作することが出来ません。

もしコンピュータのBIOSセットアップでプリンタポート関係の設定が"Auto"になっている場合には"SPP", "ECP", "EPP"などの設定に切り替えてください。

- ・ WindowsNTでプリンタを使用していない場合

WindowsNTではプリンタポート駆動用に"Paraport"というサービスが動作しています。

このサービスは通常はWindowsNT導入時に勝手に導入されるものですが、WindowsNT導入時のハードウェアの状態によっては導入されない場合が稀に発生します。

もし導入が行われていない場合には、Sentinelが動作することが出来ません。対策として、何でも結構ですので適当なプリンタドライバを導入することで"Paraport"サービスが自動的に導入され問題は解決します。

使用注意事項・動作保証範囲

- 動作可能な機種 -

Sentinel シリーズは下記の環境での動作保証を行います。ただし、当マニュアルに記載の注意事項に準拠した使用方法で運用されることが条件となります（註1）。

- ・ IBM PC/AT 互換機
- ・ IBM マイクロチャネル仕様機種
- ・ NEC PC98-NXシリーズ
- ・ PC-9801, PC-9821及びFC-98シリーズ（註2）
- ・ DEC Alpha PC（註3）

註1：全ての環境で、使用するOSをサポートするSystemDriverが導入されている必要があります。SystemDriverの導入可能範囲に関してはSystemDriverのマニュアルを参照下さい。

註2：ただしSuperproUSBは使用できません。

註3：実行ファイルを作成する段階で専用のファイルを組み込む必要があります

使用注意事項・システムドライバ

- システムドライバの必要性 -

添付させて頂いております SystemDriver。これは WindowsNT各種バージョンとWindows2000では動作に必須、WindowsME/95/98環境では導入を非常に強く推奨しております。SystemDriverが導入されていない環境では基本的にサポートを行っておりません。

Windows3.1並びにWindowsME/95/98/98SEでは確かにSystemDriver未導入でもプロテクタは動作します。しかし多くの場合でSystemDriver がないとプロテクタは動作しません。ですから常にSystemDriverを導入して下さい。

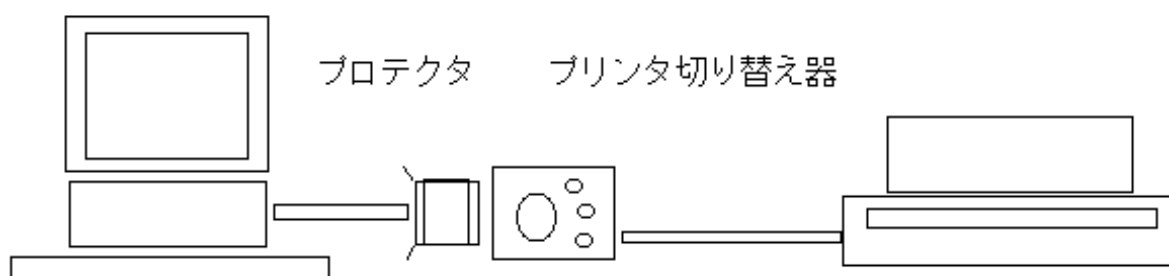
このSystemDriver についてはSystemDriverに添付のマニュアルを参照して下さい。

使用注意事項・接続について

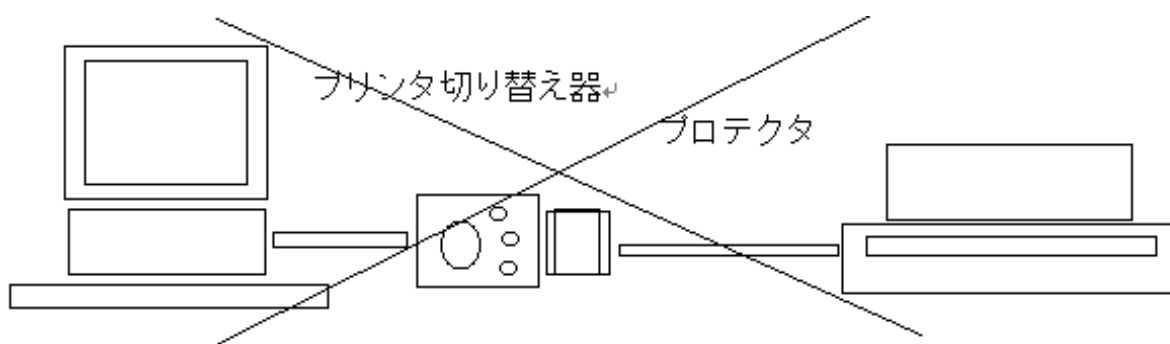
プリンタ切り替器やプリンタバッファを使用されていてセンチネルを接続される場合、**センチネルは必ずコンピュータ側に取り付ける**必要があります。

これはセンチネルの導入目的を考えれば当然ですが、センチネルはプリンタ切り替器を介在しては動作出来ないように設計されています。(もしもプリンタ切り替器で切り替えることが可能なら複数のコンピュータでセンチネルが共有できるようになってしまいます!）、接続順については下図を参照して下さい。

【正常な接続方法】



【正常でない接続方法】



可能な限り、弊社のプロテクタをコンピュータに近い側に取り付けて下さい。

使用注意事項・ケーブルについて

コンピュータのプリンタケーブルには様々な長さのものが有りますが、基本的に3m未満の長さのケーブルを推奨します。

とくに長いケーブルを使用した場合、プリンタ側（ケーブルの先）に接続するタイプの36Pin型センチネルはノイズ等の影響を受けて動作しなくなることがあります。もし5m以上の長いケーブルを使用される際には必ずノイズフィルタを装着したタイプの製品をご使用下さい。

尚、USBポートに接続するタイプのプリンタケーブル（USB-LPT変換アダプタ）は使用できません。

使用注意事項・接続機器について

基本的に以下の種類の機器はセンチネルと同じケーブルには接続する事が出来ません。

プリンタポート接続型のフロッピーディスクドライブ
プリンタポート用SCSIインターフェース
プリンタポート接続型HDD
プリンタポート接続型CD-ROMドライブ
プリンタポート接続型ZIPドライブ
プリンタポート通信型InterLink等のネットワークソフト

他、セントロニクスプリンタインターフェースの標準的な仕様から外れたデータ転送方法を実現している機器も含まれます。これら機器はセンチネルの回路に悪影響を与えます。

使用注意事項・接続順に関して

弊社のプロテクタには以下の3種類の機種があります。これら機種を複数個連結して使用する際、一部の接続順序では動作しない場合があります。

接続に関する制限状態

Sentinel Superpro

動作は接続順に依存しません。ただし Sentinel C と接続される場合には、Sentinel C の動作のために Superpro をプリンタ側に接続して下さい。

Sentinel PRO, Superpro USB

動作は接続順や他の接続機器に対して影響を受けません。

Sentinel C

Sentinel Superpro と同時に使用する場合には必ず Sentinel C をコンピュータ側に接続して下さい。

使用注意事項・プリンタ電源に関して

プリンタ電源遮断時にに関して、基本的にセンチネルは正常動作するよう設計されてます。

しかし、使用プリンタやケーブル長やコンピュータの電力容量により正常に動作が行えない場合があります。その際には弊社技術部までご連絡下さい。

使用注意事項・他メーカーとの接続

他のメーカーのプロテクタに関しても定期的に試験を行ない、他メーカーのプロテクタを使用している環境下でも問題無く動作することを確認しています。

しかし動作の安定のために極力弊社プロテクタをコンピュータに近い方に接続されることを強く推奨します。

以上